

## Ⅱ 生徒質問紙調査の結果について

### 1 調査の概要

本意識調査は、次の7点の事項について第2学年の生徒に質問した。

- (1) 各教科の内容の理解の程度について
- (2) 各教科の内容が分かるための要因について

上記(1)で、「授業がよく分かる」、または「どちらかといえば分かる」と回答した生徒を対象に質問した。

■学習方法 ■教員の姿勢 ■学習者の姿勢 ■その他

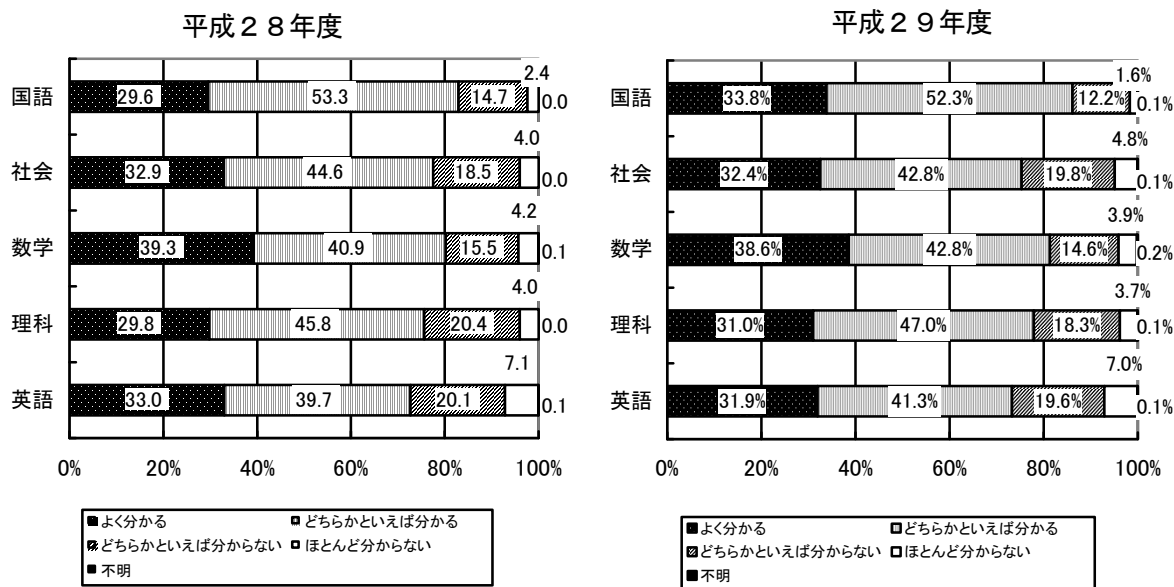
- (3) 数学や英語の学習について、学校以外での学習について
- (4) 理科に関する意識について
- (5) 英語に関する意識について
- (6) 授業について
- (7) 生活や行動等について

なお、本調査は、数値を四捨五入していることから、合計が100%にならないことがある。

### 2 調査結果の概要

- (1) 各教科の内容の理解の程度について

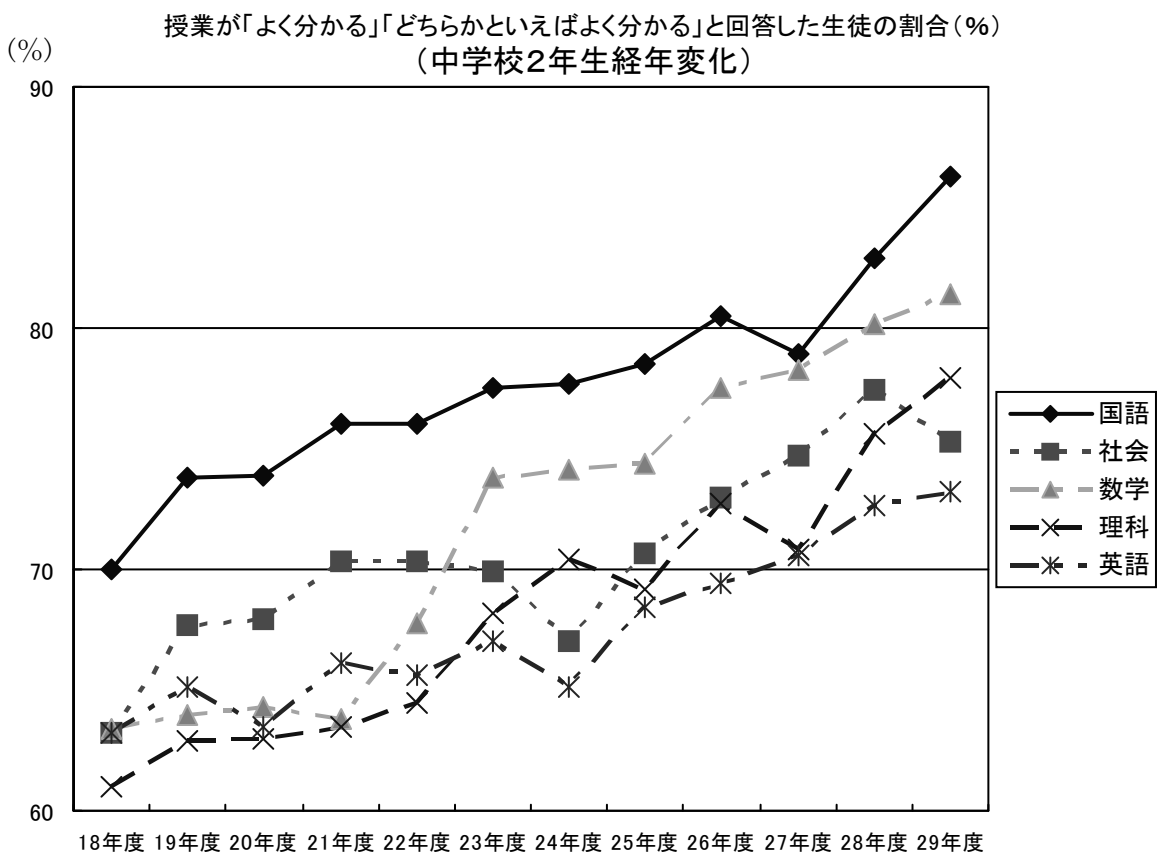
○授業の内容はどのくらい分かりますか。



授業内容の理解度と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
よく分かる	79.3	63.6	62.3	64.8	77.3	69.5
どちらかといえば分かる	71.8	56.2	51.4	55.9	64.6	60.0
どちらかといえば分からない	63.7	48.1	41.4	48.0	53.4	50.9
ほとんど分からない	54.6	41.4	31.9	42.3	44.3	42.9

平成 29 年度の第 2 学年において、授業の内容が、「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と回答した生徒の割合は、国語が 86.1%、社会が 75.2%、数学が 81.4%、理科が 78.0%、英語が 73.2% である。経年比較をすると、国語、数学、理科において授業の内容が「よく分かる」「どちらかといえばよく分かる」と回答した生徒の割合の伸びが大きい。特に数学においては、少人数・習熟度別指導を取り入れた平成 26 年度以降で著しい。一方、同様に少人数・習熟度別指導を行っている英語については、数学ほどの伸びは認められない。

平成 28 年度と平成 29 年度を比較してみると、授業が「よく分かる」「どちらかといえばよく分かる」と回答した生徒の割合は、国語が +3.2 ポイント、社会が -2.3 ポイント、数学が +1.2 ポイント、理科が +2.4 ポイント、英語が +0.5 ポイントとなっている。



平均正答率との関連を見ると、調査を実施した全ての教科で、授業が「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と回答した生徒の平均正答率が、「どちらかといえば分からない」「ほとんど分からない」と回答した生徒の平均正答率よりも高くなっている。

(2) 授業の内容が分かる要因について

次の表は、授業の内容が分かる要因について、生徒が教科ごとに回答した割合が10%以上（平成29年度）のものを示したものである。

（数字は回答率、複数回答）

	質問内容	平成28年度	平成29年度
国 語	国語の先生の教え方がていねいだから	47.4%	50.7%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	31.9%	40.6%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	28.7%	33.2%
	読書が好きだから	23.3%	23.0%
	塾や家庭で教えてもらっているから	17.4%	19.0%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	15.6%	15.4%
	分からないときには学校の先生に聞くから	14.1%	15.4%
	分からないときに自分で調べるから	12.3%	13.0%
	自分で予習や復習をしているから	12.1%	12.6%

	質問内容	平成28年度	平成29年度
社 会	社会の先生の教え方がていねいだから	48.0%	44.9%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	22.8%	27.8%
	世の中のできごとを知ることが好きだから	27.8%	26.0%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	22.4%	24.1%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	21.4%	17.5%
	自分で予習や復習をしているから	15.7%	16.5%
	分からないときには自分で調べるから	15.7%	15.5%
	分からないときには学校の先生に聞くから	13.5%	13.8%
	塾や家庭で教えてもらっているから	10.5%	12.2%

	質問内容	平成28年度	平成29年度
数 学	理解の程度などによるコース別の授業があるから	39.8%	46.5%
	数学の先生の教え方がていねいだから	43.2%	41.2%
	塾や家庭で教えてもらっているから	35.6%	36.1%
	数学の問題にはいろいろな解き方があるから	35.5%	34.5%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	29.3%	28.1%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	20.9%	22.9%
	分からないときには学校の先生に聞くから	20.6%	21.0%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	16.4%	19.0%
	自分で予習や復習をしているから	15.8%	17.2%
	分からないときには自分で調べるから	11.1%	11.6%

	質問内容	平成28年度	平成29年度
理科	観察したり、実験したりする授業が多いから	47.7%	49.6%
	理科の先生の教え方がていねいだから	42.9%	44.3%
	観察や実験をした後に、じっくりと考える授業が多いから	32.3%	33.1%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	21.5%	23.4%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	18.5%	19.5%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	15.8%	18.8%
	分からないときには学校の先生に聞くから	15.8%	17.2%
	自分で予習や復習をしているから	13.1%	14.6%
	塾や家庭で教えてもらっているから	11.6%	14.0%
	分からないときには自分で調べるから	11.7%	12.7%

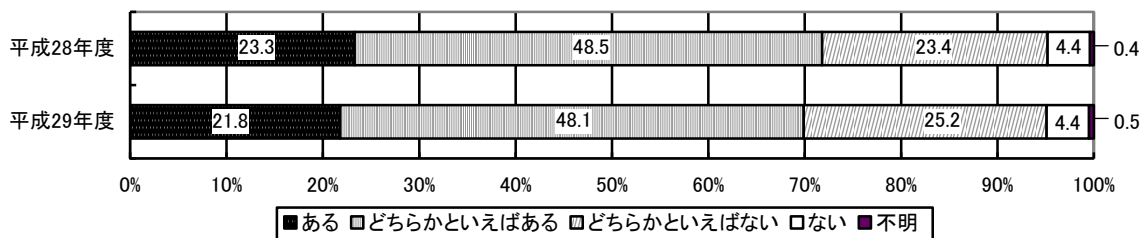
	質問内容	平成28年度	平成29年度
英語	英語の先生の教え方がていねいだから	35.8%	36.7%
	塾や家庭で教えてもらっているから	33.3%	34.1%
	授業で外国語指導助手(ALT)の先生が教えてくれるから	26.6%	31.7%
	授業中にくり返し学習する時間があるから	24.3%	23.2%
	お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから	19.3%	21.7%
	自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから	20.5%	21.2%
	分からないときには学校の先生に聞くから	17.5%	18.2%
	自分で予習や復習をしているから	16.5%	17.8%
	理解の程度などによるコース別の授業があるから	23.3%	16.1%
	分からないときには自分で調べるから	13.2%	14.3%

教科ごとの特徴として、以下のような回答があげられる。

- ◆国語…「お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから」40.6%(平成29年度)  
 <昨年度より8.7ポイントの増加>  
 「自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから」・・・33.2%(平成29年度)  
 <昨年度より4.5ポイントの増加>
- ◆社会…「お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから」27.8%(平成29年度)  
 <昨年度より5.0ポイントの増加>  
 「授業中にくり返し学習する時間があるから」・・・17.5%(平成29年度)  
 <昨年度より3.9ポイントの減少>
- ◆数学…「理解の程度などによるコース別の授業があるから」・・・46.5%(平成29年度)  
 <昨年度より6.7ポイントの増加>  
 「自分で考え、考えたことを発表する授業が多いから」・・・22.9%(平成29年度)  
 <昨年度より2.0ポイントの増加>
- ◆理科…「観察したり、実験したりする授業が多いから」・・・49.6%(平成29年度)  
 <昨年度より1.9ポイントの増加>  
 「お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから」23.4%(平成29年度)  
 <昨年度より1.9ポイントの増加>
- ◆英語…「授業で外国語指導助手(ALT)の先生が教えてくれるから」・・・31.7%(平成29年度)  
 <昨年度より5.1ポイントの増加>  
 「お互いに意見を出し合ったり、学び合ったりする授業が多いから」21.7%(平成29年度)  
 <昨年度より2.4ポイントの増加>

(3) 数学や英語の学習について、学校以外での学習について

① 小学校の算数や1年の数学の学習内容を理解している自信がありますか。

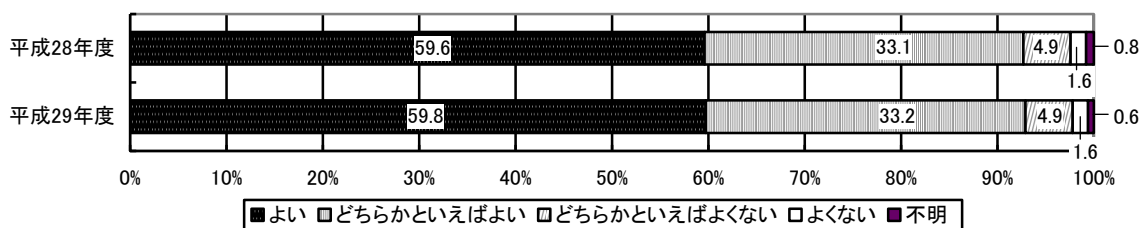


数学の学習内容を理解している自信の度合いと平均正答率との関係	数学の平均正答率 (%)
ある	65.5
どちらかといえばある	54.3
どちらかといえばない	44.1
ない	38.4

「小学校の算数や1年の数学の学習内容を理解している自信があるか」という質問に対して、肯定的な回答をした生徒の割合は69.9%であり昨年度より1.9ポイント減少している。

平均正答率との関連で見ると、「ある」「どちらかといえばある」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばない」「ない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっており、その差が顕著となっている。

② 数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれて授業を受けることについて、どのように思いますか。

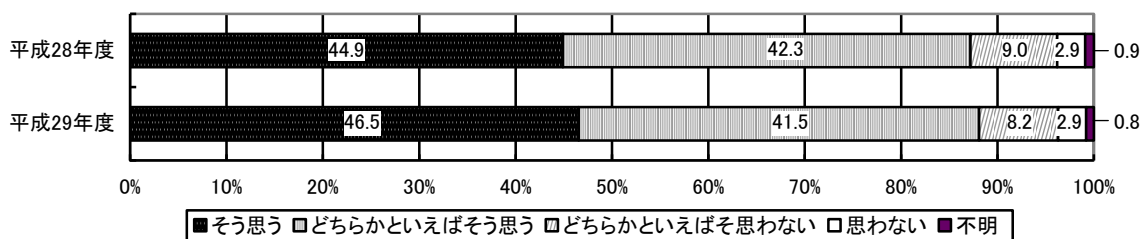


習熟度別指導に対してどのように思うかと平均正答率との関係	平均正答率 (%)	
	数学	英語
よい	56.6	68.3
どちらかといえばよい	49.4	61.3
どちらかといえばよくない	45.3	55.9
よくない	46.9	54.3

「数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれて授業を受けることについて、どのように思うか」という質問に対して、「よい」「どちらかといえばよい」と答えた生徒の割合は、93.0%であり、昨年度より0.3ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、数学、英語どちらにおいても、「よい」「どちらかといえばよい」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばよくない」「よくない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。このことから、数学、英語において、生徒の習熟の程度に応じた指導を実施することが、確かな学力の定着につながるものであると考えられる。

- ③ 数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれて授業を受けることで、学力がつくようになると思いますか。

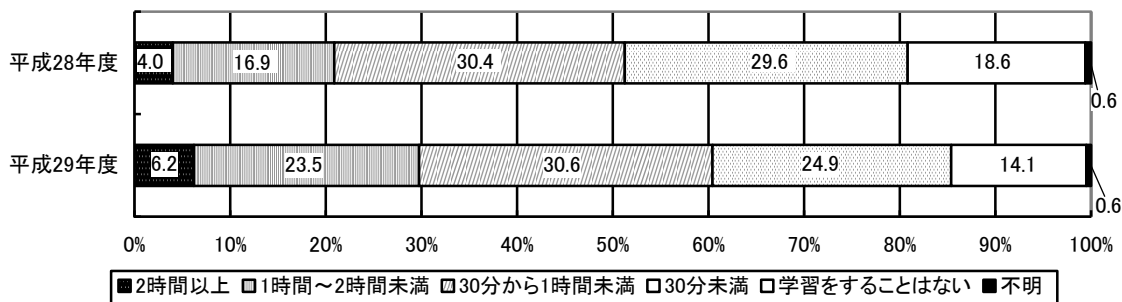


習熟度別指導に対する意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%)	
	数学	英語
そう思う	57.0	68.7
どちらかといえばそう思う	50.9	62.7
どちらかといえばそわない	48.5	59.8
思わない	48.0	57.9

「数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれて授業を受けることで、学力がつくようになると思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は88.0%であり、昨年度より0.8ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の数学・英語の平均正答率は、「どちらかといえばそわない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりもいずれも高くなっている。習熟の程度に応じて指導方法や教材等を変えるなど、効果的な習熟度別指導を行うことで、正答率の一層の向上につながるものと考えられる。

- ④ 学校以外で、毎日およそどのくらい学習をしますか。(塾や習い事はふくめません。)

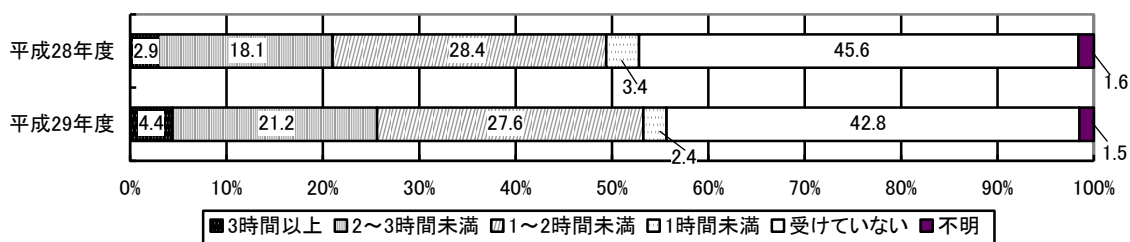


学習時間と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
2時間以上	78.6	62.6	63.8	63.7	73.7	68.5
1時間～2時間未満	75.3	59.2	56.6	58.4	68.6	63.6
30分～1時間未満	73.1	56.3	53.1	57.0	65.4	61.0
30分未満	71.6	54.7	51.2	55.0	62.6	59.0
学習をすることはしない	69.7	51.6	48.5	53.7	59.5	56.6

「学校以外で、毎日およそどのくらい学習をするか」という質問である。「学習をしている」と回答した生徒の割合の合計は85.2%で、昨年度より4.3ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、1日に「2時間以上」学習をする生徒の平均正答率は、5教科全てにおいて最も高くなっている。

⑤ 塾の先生や家庭教師の先生による学習を受ける時間は、1日当たりどのくらいですか。



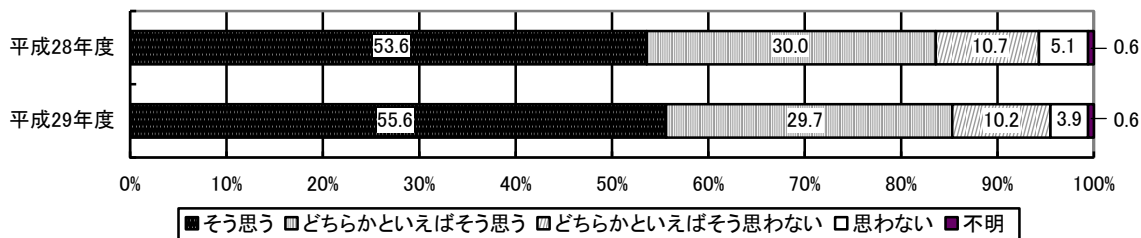
通塾時間と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
3時間以上	74.4	57.5	57.5	57.7	69.7	63.4
2時間~3時間未満	75.3	57.7	58.2	58.4	69.6	63.8
1時間~2時間未満	71.8	55.1	53.3	55.2	65.8	60.2
1時間未満	70.9	57.8	54.6	58.9	66.7	61.8
学習することはない	73.0	56.3	50.9	56.8	62.0	59.8

「塾の先生や家庭教師の先生による学習を、1日当たりどのくらいするか」という質問である。時間の長さに関わらず「学習をしている」と回答した生徒の割合の合計は55.6%であり、昨年度より2.8ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、1日に「2時間~3時間未満」学習をする生徒の平均正答率が、英語以外の4教科で高くなっているが、教科合計でその差は4.0ポイントであり、他の質問項目の結果と比較すると小さい。

(4) 理科に関する意識について

① 理科の授業で、もっと観察・実験をしたいと思いませんか。

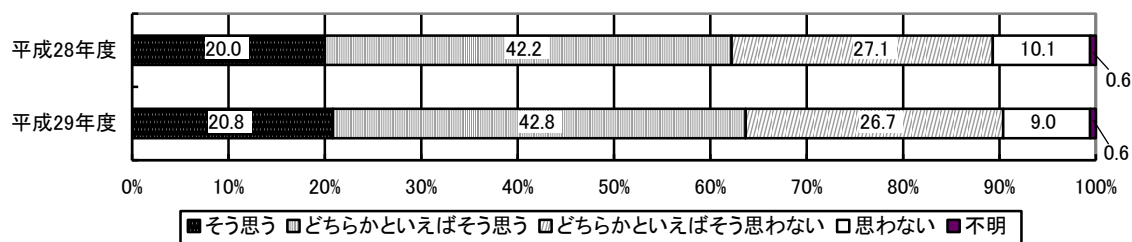


観察・実験への意欲と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
そう思う	57.6
どちらかといえばそう思う	56.6
どちらかといえばそう思わない	54.5
思わない	51.1

「理科の授業で、もっと観察・実験をしたいと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は85.3%であり、昨年度より1.7ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

② 理科の授業で学習したことは、ふだんの生活で役立つと思うか。

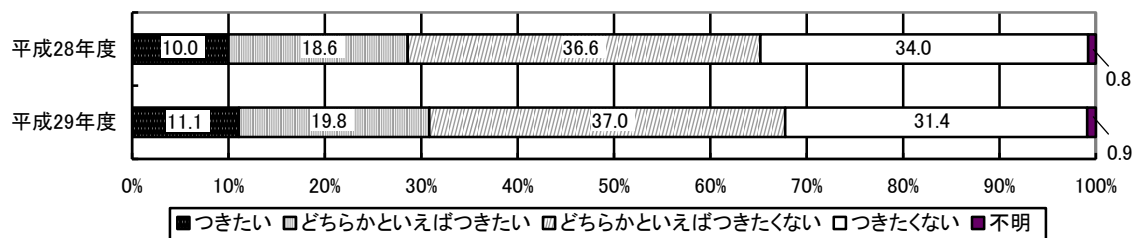


理科の学習内容が生活で役立つかという意識と平均正答率との関係	理科の平均正答率 (%)
そう思う	61.0
どちらかといえばそう思う	57.7
どちらかといえばそう思わない	54.0
思わない	50.4

「理科の授業で学習したことは、ふだんの生活で役立つと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は63.6%であり、昨年度より1.4ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

③ 将来、「理科や数学を活用したり、科学技術に関係したりする仕事」につきたいと思いますか。



理科や数学、科学技術に関する仕事への意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
つきたい	77.5	62.3	62.8	65.4	70.8	67.8
どちらかといえばつきたい	75.3	60.3	59.1	62.0	68.1	65.0
どちらかといえばつきたくない	72.7	56.4	52.7	56.2	64.4	60.5
つきたくない	70.7	51.6	47.5	51.0	62.1	56.6

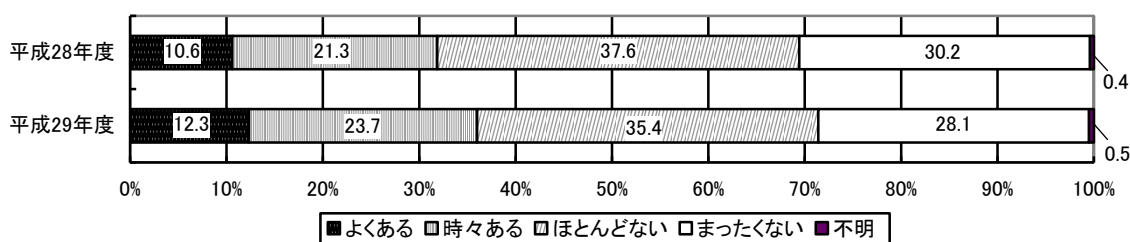
「将来、理科や数学を活用したり、科学技術に関係したりする仕事につきたいと思うか」という質問に対して、「つきたい」「どちらかといえばつきたい」と答えた生徒の割合は30.9%であり、昨年度より2.3ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「つきたい」「どちらかといえばつきたい」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばつきたくない」「つきたくない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。



(5) 英語に関する意識について

① 学校・塾・習い事以外で、英語を使う機会がありますか。

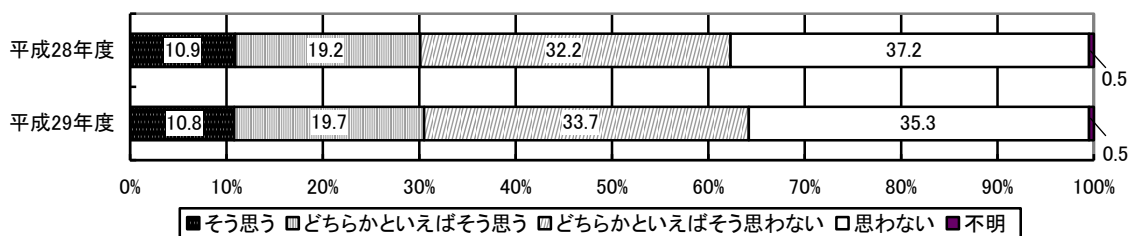


英語を使う頻度と平均正答率との関係	英語の平均正答率 (%)
よくある	71.2
時々ある	66.8
ほとんどない	66.0
まったくない	59.8

「学校・塾・習い事以外で、英語を使う機会があるか」という質問に対して、「よくある」「時々ある」と答えた生徒の割合は36.0%であり、昨年度から4.1%増加している。

平均正答率との関連で見ると、「よくある」と回答した生徒の平均正答率は、「時々ある」「ほとんどない」「まったくない」と答えた生徒の英語の平均正答率よりも高くなっている。日常生活を含め、より多くの英語を使う機会をつくっていくことが大切であると考えられる。

② 学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけたいと思いますか。

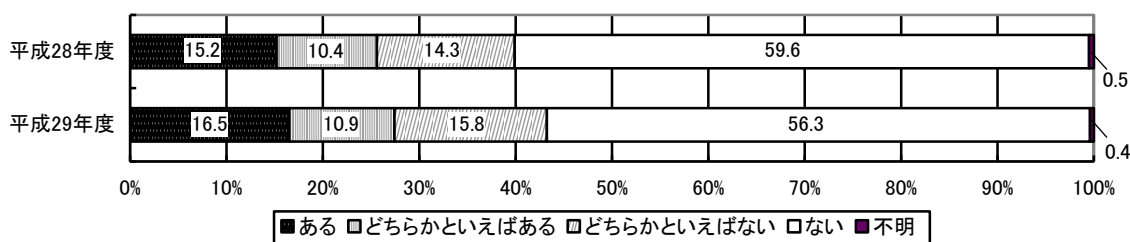


外国の人へ英語で話しかけてみたいという意識と平均正答率との関係	英語の平均正答率 (%)
そう思う	72.5
どちらかといえばそう思う	70.1
どちらかといえばそう思わない	65.7
思わない	59.5

「学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけたいと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は30.5%であり、昨年度より0.4ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高く、英語が得意な生徒は、積極的に話しかけようとしていると考えられる。

③ 学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけたことはありますか。



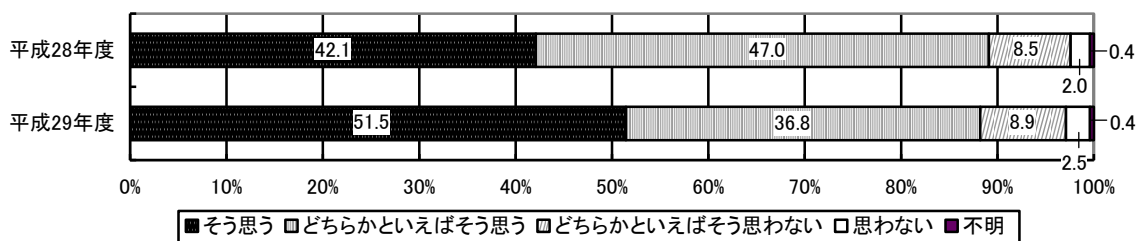
外国の人と英語で話した経験と平均正答率との関係	英語の平均正答率 (%)
ある	69.1
どちらかといえばある	65.2
どちらかといえばない	65.0
ない	63.9

「学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけたことはあるか」という質問に対して、「ある」「どちらかといえばある」と答えた生徒の割合は27.4%であり、昨年度より1.8ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「ある」「どちらかといえばある」と答えた生徒の英語の平均正答率は、「どちらかといえばない」「ない」と答えた生徒の英語の平均正答率よりも高くなっているが、その差は5.2ポイントであり、他の質問項目の結果と比較すると小さい。

(6) 授業について

① 授業では、自分の考えを発表する機会がありますか。

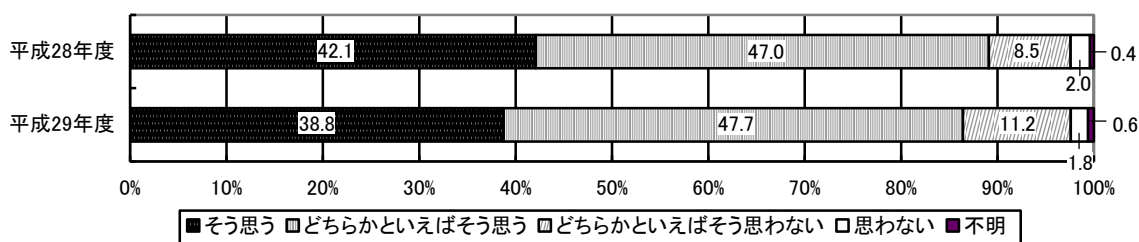


自分の考えを発表する機会と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	76.0	58.9	56.8	59.2	68.4	63.9
どちらかといえばそう思う	72.3	55.5	52.4	56.4	64.0	60.1
どちらかといえばそう思わない	64.9	49.2	43.9	48.3	56.2	52.5
思わない	53.4	38.2	32.5	39.5	44.9	41.7

「授業では、自分の考えを発表する機会がありますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は88.3%で、昨年度より0.8ポイント減少している。一方、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した生徒の割合は11.4%である。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

② 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。

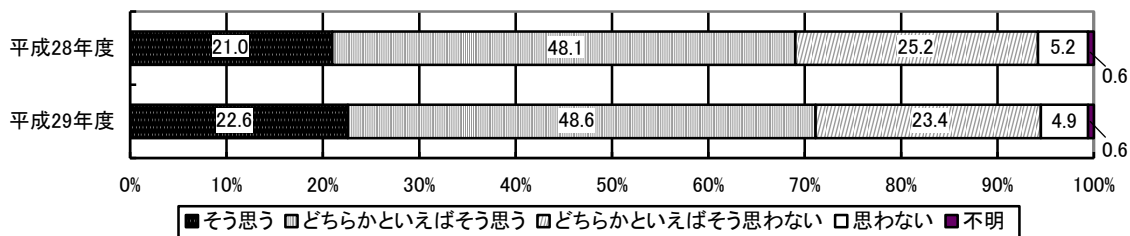


話し合う活動を行う機会と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	75.0	57.8	55.6	58.4	67.6	62.9
どちらかといえばそう思う	72.8	56.2	53.2	56.5	64.7	60.7
どちらかといえばそう思わない	69.6	53.3	49.1	53.6	60.7	57.3
思わない	59.9	44.6	38.6	45.5	48.0	47.3

「授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は86.5%で、昨年度より2.6ポイント減少している。一方、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した生徒の割合は13.0%である。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

③ 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を設定し、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。



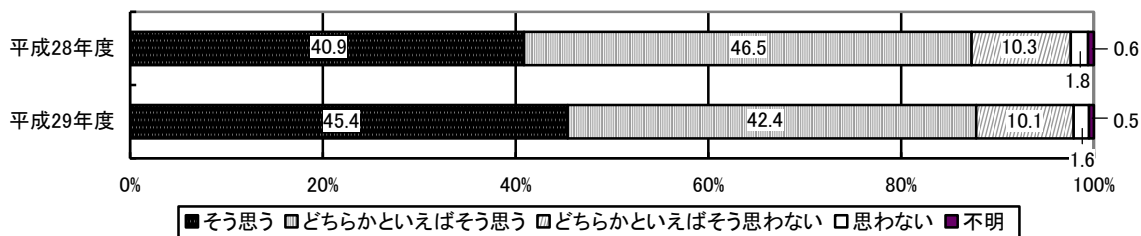
課題を立て、整理し、発表する学習活動の機会と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.3	57.3	55.5	57.8	66.8	62.3
どちらかといえばそう思う	72.9	56.0	53.0	56.3	64.7	60.6
どちらかといえばそう思わない	73.0	56.5	53.2	57.0	65.0	60.9
思わない	70.3	53.4	49.3	54.6	60.4	57.6

「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を設定し、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいると思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は71.2%で、昨年度より2.1ポイント増加している。一方、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した生徒の割合は28.3%である。

平均正答率との関連で見ると、全ての教科において、「どちらかといえばそう思う」と答え

た生徒の平均正答率と、「どちらかといえばそう思わない」と答えた生徒の平均正答率について逆転している。

④ 授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。

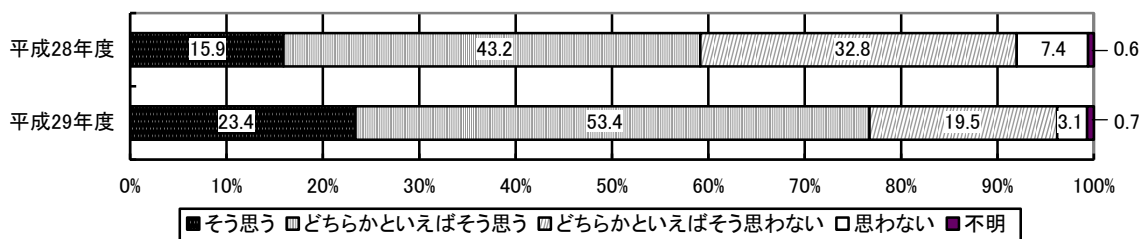


授業の中で、目標が示されていることと平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.4	57.3	54.7	57.5	66.3	62.0
どちらかといえばそう思う	72.7	56.1	52.8	56.7	64.6	60.6
どちらかといえばそう思わない	70.2	54.0	51.9	54.9	63.3	58.9
思わない	63.9	47.1	42.4	47.8	53.5	50.9

「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は87.8%で、昨年度より0.4ポイント増加している。一方、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した生徒の割合は11.7%である。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

⑤ 授業では、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。



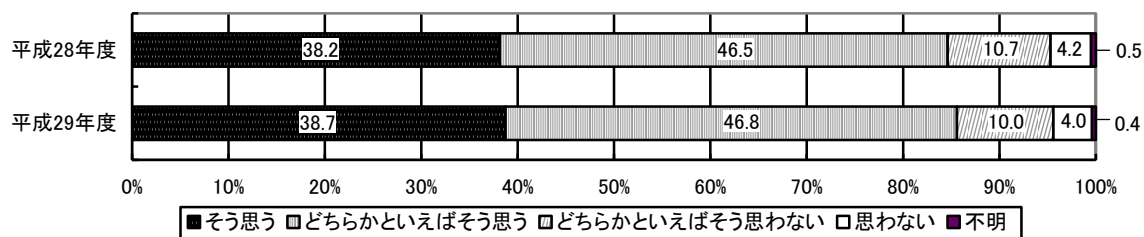
授業の最後に学習内容を振り返る活動を行うことと平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	73.6	56.3	54.2	57.1	65.8	61.4
どちらかといえばそう思う	73.3	56.7	53.6	56.9	65.5	61.2
どちらかといえばそう思わない	72.9	56.2	53.3	56.6	64.3	60.6
思わない	67.9	51.6	47.5	52.7	58.8	55.7

「授業では、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は76.8%で、昨年度より17.7ポイント増加している。一方、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した生徒の割合は22.6%である。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率と、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒よりも高くなっている。

(7) 生活や行動等について

① 自分の住む地域や社会をよくしたいと思いますか。

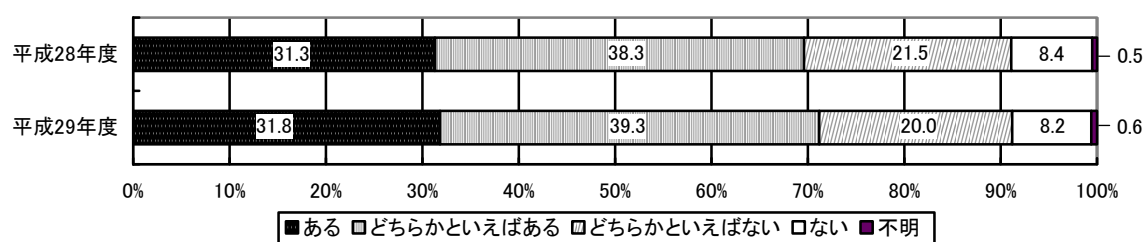


地域や社会をよくする意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.2	57.7	55.0	58.1	66.9	62.4
どちらかといえばそう思う	73.2	56.5	53.7	56.8	65.3	61.1
どちらかといえばそう思わない	70.1	52.6	49.0	53.8	60.4	57.2
思わない	68.2	49.6	45.9	50.5	56.1	54.1

「自分の住む地域や社会をよくしたいと思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は85.5%であり、昨年度より0.8ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

② たとえ小さなことでも、地域や社会をよくするために何かしたことがありますか。

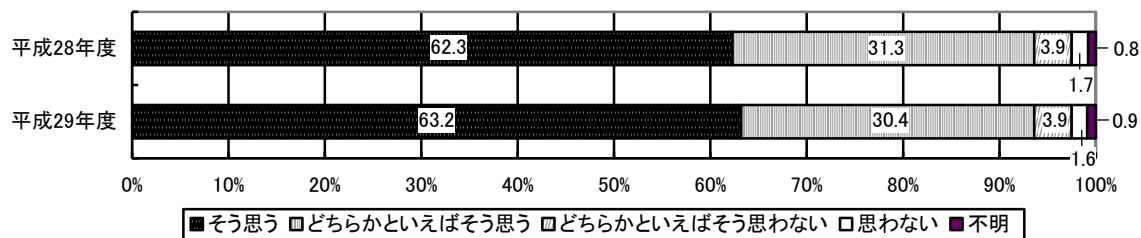


地域や社会への貢献度と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
ある	76.0	58.6	56.5	59.4	68.1	63.7
どちらかといえばある	72.7	56.3	53.4	56.7	64.8	60.8
どちらかといえばない	70.7	54.3	50.9	54.1	62.8	58.6
ない	70.2	52.4	48.4	53.2	60.2	56.9

「たとえ小さなことでも、地域や社会をよくするために何かしたことがありますか」という質問に対して、「ある」「どちらかといえばある」と答えた生徒の割合は71.1%であり、昨年度より1.5ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「ある」「どちらかといえばある」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばない」「ない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

③ 学校の規則やきまりを守ることが大切だと思いますか。

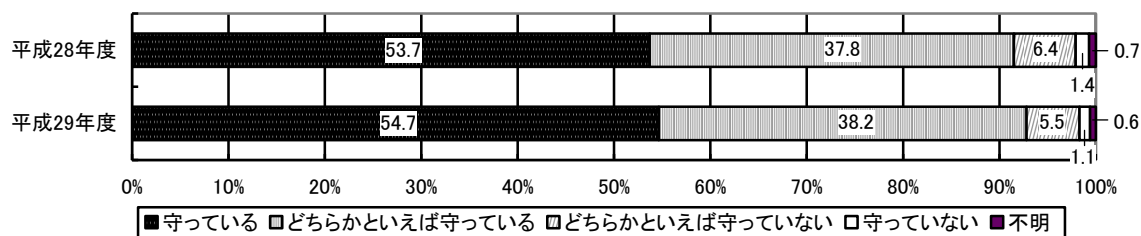


規範意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.1	57.5	54.9	57.6	66.7	62.1
どちらかといえばそう思う	72.1	54.8	51.4	55.5	63.1	59.4
どちらかといえばそう思わない	68.8	52.6	48.8	54.2	59.3	56.7
思わない	67.6	49.8	46.4	51.6	56.6	54.4

「学校の規則やきまりを守ることが大切だと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は93.6%であり、昨年度と同じである。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

④ 学校の規則やきまりを守っていますか。

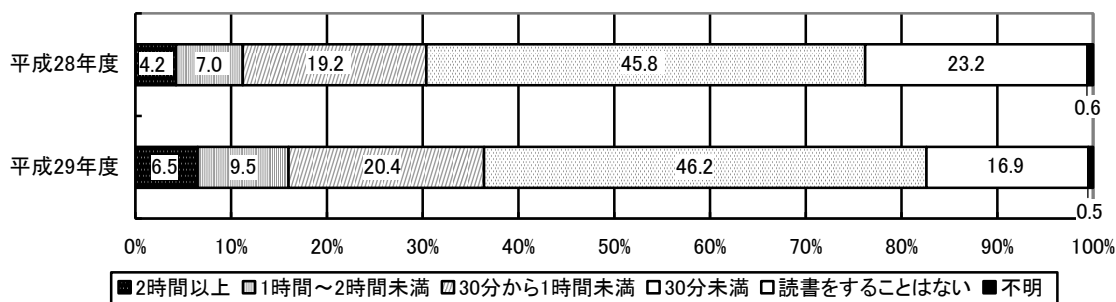


規則を守っていることと平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
守っている	74.6	57.7	55.4	58.1	67.6	62.7
どちらかといえば守っている	72.2	55.7	52.2	55.9	63.3	59.9
どちらかといえば守っていない	67.3	48.6	45.0	51.2	55.6	53.6
守っていない	58.0	43.6	39.5	45.1	46.4	46.5

「学校の規則やきまりを守っているか」という質問に対して、「守っている」「どちらかといえば守っている」と答えた生徒の割合は92.9%であり、昨年度より1.4ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「守っている」「どちらかといえば守っている」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえば守っていない」「守っていない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

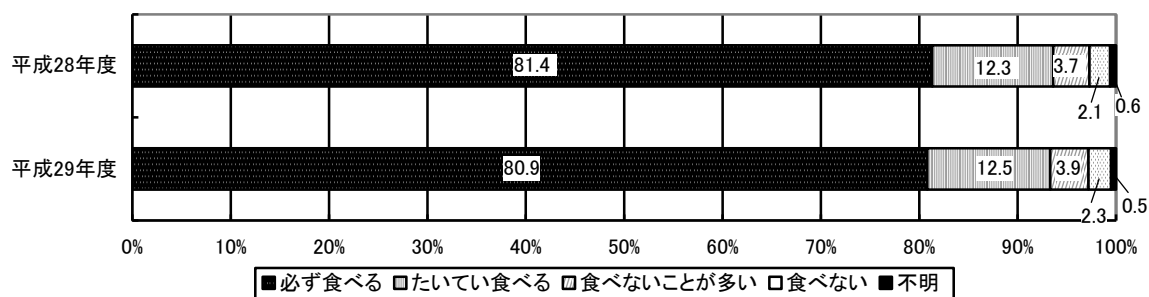
- ⑤ 毎日読書をおよそどのくらいしますか。  
 (学校での読書をふくめてよい。教科書やマンガはのぞきます。)



読書時間と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
2時間以上	75.9	57.9	53.1	59.1	64.1	62.0
1時間～2時間未満	75.6	59.4	54.9	59.5	66.5	63.2
30分～1時間未満	76.3	59.6	56.0	59.7	68.4	64.0
30分未満	73.2	56.3	54.2	56.7	65.8	61.2
読書するのではない	66.6	50.0	47.6	50.6	58.8	54.7

「毎日読書をおよそどのくらいするか」という質問である。時間の長さに関わらず「読書をしている」と回答した生徒の割合の合計は85.4%で、昨年度より6.0ポイント増加している。平均正答率との関連で見ると、1日に「30分～1時間未満」の読書をする生徒の教科の平均正答率が高いという傾向がある。

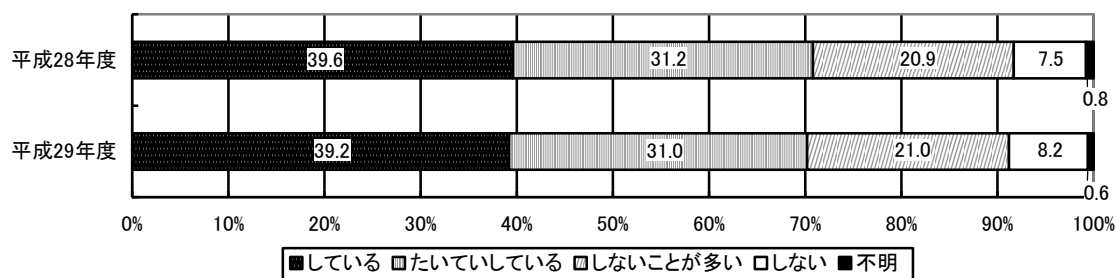
- ⑥ 学校に行く前に朝食を食べますか。



朝食を食べることと 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
必ず食べる	74.7	58.1	55.6	58.3	67.3	62.8
たいてい食べる	68.6	50.4	46.8	51.4	58.0	55.1
食べないことが多い	61.8	45.0	39.3	46.5	51.1	48.7
食べない	60.8	42.8	37.7	45.5	48.4	47.1

「学校に行く前に朝食を食べるか」という質問に対して、「必ず食べる」「たいてい食べる」と回答した生徒の割合は93.4%で、昨年度より0.3ポイント減少している。平均正答率との関連で見ると、「必ず食べる」「たいてい食べる」と回答した生徒の平均正答率は、「食べないことが多い」「食べない」と回答した生徒の平均正答率よりも高くなっている。

⑦ 家の人と、学校や社会の出来事について話をしていますか。

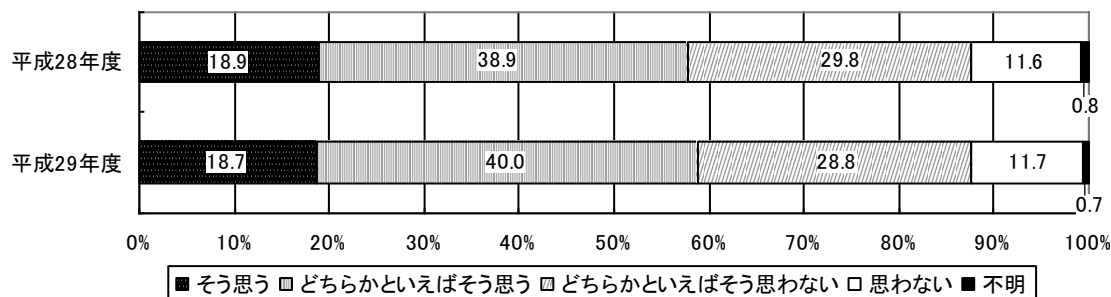


家族と話をしていることと 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
している	75.8	58.9	56.5	59.3	69.4	64.0
たいていしている	73.6	57.1	54.1	57.2	65.7	61.5
しないことが多い	70.1	53.1	50.0	53.8	60.2	57.4
しない	66.2	49.0	45.0	50.1	54.5	52.9

「家の人と、学校や社会の出来事について話をしているか」という質問に対して、「している」「たいていしている」と回答した生徒の割合は70.2%で、昨年度より0.6ポイント減少している。

平均正答率との関連で見ると、「している」「たいていしている」と回答した生徒の平均正答率は、「しないことが多い」「しない」と回答した生徒の平均正答率よりも高くなっている。

⑧ 自分は、最後までやりぬくなど、根気強い方だと思いますか。



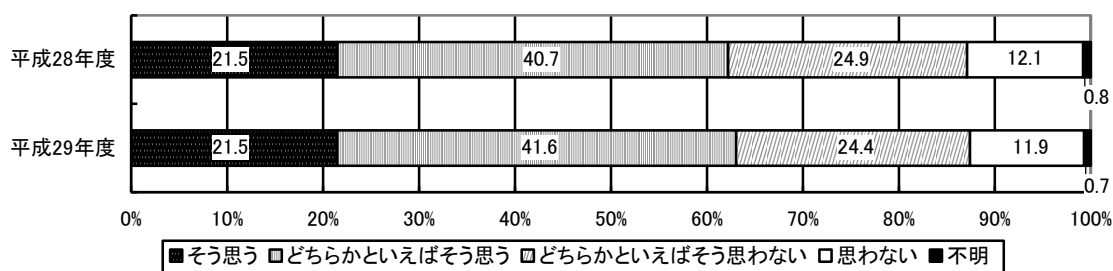
根気強さと 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.4	57.9	55.8	58.0	67.5	62.7
どちらかといえばそう思う	74.2	57.7	55.6	58.0	67.3	62.6
どちらかといえばそう思わない	71.6	55.0	51.1	55.4	62.8	59.2
思わない	71.1	52.5	48.3	53.8	59.1	57.0

「自分は、最後までやりぬくなど、根気強い方だと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合は58.7%で、昨年度より0.9ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した生徒の平均正答率よりも高くなっているが、その差は5.7ポイントであり、他の質問項目の結果と比較すると小さい。



⑨ 自分のことを大切な存在だと感じていますか。

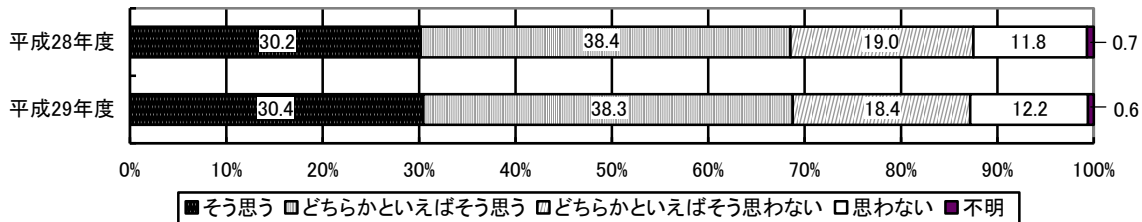


自尊感情と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.2	57.9	55.9	58.2	67.6	62.8
どちらかといえばそう思う	73.7	57.2	54.7	57.4	66.6	61.9
どちらかといえばそう思わない	72.1	55.1	51.6	55.6	63.0	59.5
思わない	71.0	52.8	48.5	54.1	59.4	57.2

「自分のことを大切な存在だと感じているか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合は63.1%で、昨年度よりも0.9ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した生徒の平均正答率よりも高くなっているが、その差は5.6ポイントであり、他の質問項目の結果と比較すると小さい。

⑩ 自分の国のよいところを外国の人に伝えたいと思いますか。

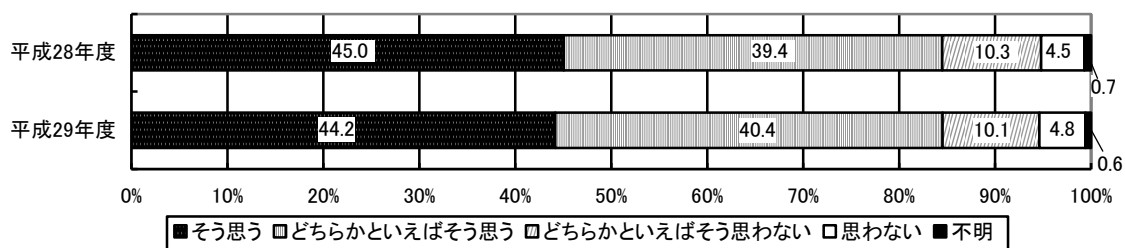


自国のよいところを伝える 意識と平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	74.3	57.7	54.9	58.0	67.9	62.6
どちらかといえばそう思う	73.8	57.4	54.5	57.7	66.5	62.0
どちらかといえばそう思わない	72.0	55.1	52.4	55.4	62.6	59.5
思わない	69.5	51.2	48.1	52.7	57.0	55.7

「自分の国のよいところを外国の人に伝えたいと思うか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合は68.7%であり、昨年度より0.1ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と答えた生徒の平均正答率よりも高くなっている。

⑪ 将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思いますか。

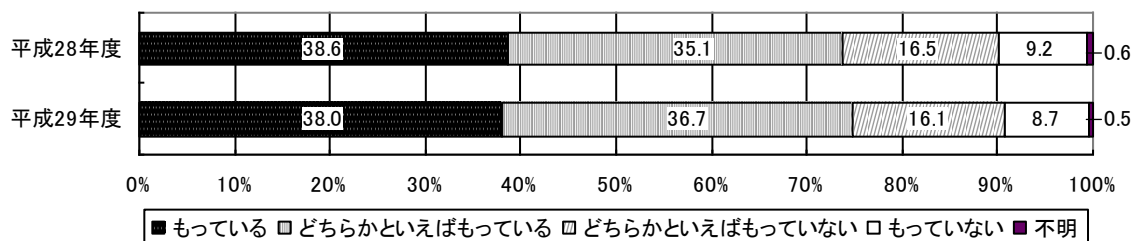


社会貢献への意識と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
そう思う	75.6	58.9	56.6	58.9	68.8	63.8
どちらかといえばそう思う	72.2	55.5	52.6	56.2	63.9	60.1
どちらかといえばそう思わない	68.8	52.3	47.5	52.5	58.5	55.9
思わない	67.4	48.1	44.6	50.4	54.6	53.0

「将来、社会や人のために役立つ仕事がしたいと思いますか」という質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合は84.6%で、昨年度より0.2ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の平均正答率は、「どちらかといえばそう思わない」「思わない」と回答した生徒の平均正答率よりも高くなっている。

⑫ 自分の将来に、希望をもっていますか。



将来への希望と 平均正答率との関係	平均正答率 (%)					
	国語	社会	数学	理科	英語	教科合計
もっている	73.0	56.7	53.7	56.5	66.3	61.2
どちらかといえばもっている	74.1	57.7	55.4	58.0	66.7	62.4
どちらかといえばもっていない	72.8	54.7	51.8	56.3	62.7	59.7
もっていない	70.0	51.4	47.3	52.9	57.4	55.8

「自分の将来に、希望をもっているか」という質問に対して、希望を「もっている」「どちらかといえばもっている」と答えた生徒の割合は74.7%であり、昨年度より1.0ポイント増加している。

平均正答率との関連で見ると、「どちらかといえばもっている」と答えた生徒の正答率が、他と比べて高くなっているが、その差は6.6ポイントであり、他の質問項目の結果と比較すると小さい。

### 3 指導の改善に向けて

本調査の結果から、確かな学力の向上を図るための指導上の改善点について以下に示す。

#### (1) 授業改善のための視点

##### ① 知識・技能の確実な定着

本調査の結果から、国語、社会、数学、理科、英語のどの教科においても、授業が「よく分かる」と感じている生徒ほど、平均正答率が高いことが分かる。授業が「よく分かる」と回答した生徒と「ほとんど分からない」と回答した生徒の平均正答率の差は、国語が 24.7 ポイント、社会が 22.2 ポイント、数学が 30.4 ポイント、理科が 22.5 ポイント、英語が 33.0 ポイントである。これらの結果から、「できない」「分からない」箇所があれば、繰り返しの指導だけでなく、前の学年や小学校段階の内容に立ち戻った指導を通して「できる」「分かる」ようにする指導を徹底することが求められる。

特に、学習内容の系統性が強い数学と英語については、他の教科と比較して、授業が「よく分かる」と回答した生徒と「ほとんど分からない」と回答した生徒の平均正答率の差が大きいことから、繰り返しの指導により、当該学年の基礎的・基本的な事項の確実な定着が大切であると考えられる。

##### ② 思考力・判断力・表現力等の更なる育成

本調査の「読み解く力」に関する事項についての結果から、どの教科においても、「比較・関連付けて読み取る力」や「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」の平均正答率が低い傾向にある。

したがって、「授業の中で目標を示す」、「自分たちで課題を設定して、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理し発表する」ように、授業のねらいを明確にした上で、自力で課題を追究したり、追究したことを対話し、考えをまとめ発表したりするなどの学習活動を充実させて、授業改善を図ることが大切である。

##### ③ 個に応じた指導の充実

本調査の結果から、「数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれて授業を受けることについて、どのように思いますか」「数学や英語において、自分の学力に応じたコースに分かれて授業を受けることで、学力がつくようになると思いますか」の質問に対して「よい」「そう思う」と回答した児童ほど、平均正答率が高い傾向にある。したがって、生徒一人一人の特性を理解し、習熟の程度を的確に把握するとともに、習熟度別指導を実施する際には、学習集団の特性に応じた課題や教材等を設定することが大切である。また、一人一人の生徒の学力を伸長する観点から、コースによって取り扱う内容を吟味し、設定した学習到達度まで確実に引き上げていくことが求められる。

#### (2) 学校と家庭との連携を図った指導の充実

本調査及びこれまでの調査の結果から、基本的な生活習慣、規範意識、忍耐力、自尊感情、奉仕の精神、社会貢献に関する質問に対して「している(そう思う等)」と回答した生徒ほど、平均正答率が高い傾向にある。また、家庭での学習習慣が身に付いている生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。

したがって、家庭との連携をより一層深め、生徒一人一人の基本的な生活習慣や学習習慣が確立できるよう指導していくことが大切である。また、学校の学習の様子や出来事を家庭に伝え、学校や社会の出来事を家庭で話し合えるよう働きかけることが大切である。